

BeoLab 5

警告：火災や感電の危険があります。
本製品を雨や湿気にさらさないでください。本装置を水滴やしづきにさらしたり、花瓶など水の入った物を上に置いたりしないでください。

製品の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続には、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



このシンボルは本体に感電を引き起こす危険な電圧が存在することを示しています。



このシンボルは本体に添付される重要な操作およびメンテナンス説明書があることを示しています。

CE 本製品は、指令 2004/108/EC および 2006/95/EC に規定されたすべての条件を満たしています。

当ガイドではBeoLab 5スピーカーのセットアップおよび使用のための準備のしかたを説明します。ガイドはスピーカーを初めてセットアップする場合や、セットアップの終了したものを移動・再設定する場合に必要な情報を提供しています。

Beo4リモコン(オプション)の詳細については、リモコンの説明書またはお使いのBang & Olufsen オーディオ/ビジュアルシステムの説明書を参照してください。

当ガイドの説明に注意深く従ってください。弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.bang-olufsen.com

日常の使用、4

BeoLab 5の使用方法、内蔵スピーカー保護システム、BeoLab 5のクリーニングに関する情報。

BeoLab 5のセットアップ、6

BeoLab 5のセットアップを開始する前に考慮すべき重要な情報。

ケーブルの接続、8

ソケットに関する情報、BeoLab 5のオーディオまたはビデオシステムへの接続のしかた。

BeoLab 5のお手持ちのシステムへの適応、11

独自のセットアップに最適なオプション設定とLINE入力レベル設定の方法。

BeoLab 5の部屋への適応、12

独特な Adaptive Bass Control システムについて、特定の部屋におけるBeoLab 5の調整方法。

PINコードシステムの使用、14

PINコードシステムについて。

インジケータライト、サウンドシグナル、17

インジケータライトおよびサウンドシグナルについて。

索引、18

詳しく知りたい内容を検索。

日常の使用

以下のページの説明に従ってスピーカーのセットアップを終了したら、オーディオまたはビデオシステム全体を電源に接続してください。

スピーカーは使用していなくてもスタンバイにしておくようデザインされているため、電源をオフにしないでください。

Adaptive Bass Controlシステムにより、バスのレベルをスピーカーの設定に適合させます。従ってスピーカーを新たな位置に移動した場合 BeoLab 5 の部屋への適応 (P12-13) の説明に従って再度調整を行わなければなりません。

スイッチのオン/オフ

Bang & Olufsen システムのスイッチをオンにすると同時に、スピーカーのスイッチがオンになります。インジケータライトが緑色* に点灯している場合、スピーカーがオンになったことを示しています。

お使いの Bang & Olufsen システムのスイッチを切ると、インジケータライトがしばらく赤点灯した後、スイッチが切れます (スタンバイ状態)。

スピーカーが Bang & Olufsen 以外のシステムに接続されている場合、次ページを参照してスイッチのオン/オフ、音量調整、サウンドバランスの変更、音量のプリセットなどを行ってください。

スピーカーの保護

スピーカーには熱保護システムが装備されており、ユニットを過熱から保護します。エラーが発生した場合、システムが自動的にスピーカーをスタンバイ状態にし、インジケータライトがしばらく赤点滅します。

状態を復帰させるには：

- > スピーカーを電源から外します。
- > システム時間がリセットをするのを待ちます (約 3-5分)。
- > 再度、スピーカーを電源に接続します。

問題が継続する場合は、Bang & Olufsen 販売店にご相談ください。



2つあるスピーカードームは決して触らないでください。クリーニングは柔らかいブラシを使用します。

クリーニング

スピーカー裏面のクリーニングには、ぬるま湯に浸した柔らかい布を固く絞ってお使いください。

2つのドームには決して電気掃除機を使用しないでください。但し、スピーカー前面の布はブラシの付いたノズルを使用して最低の吸引力で掃除しても構いません。

スピーカーの手入れには決してアルコールまたはその他の溶剤を使用しないでください。

*ご注意! Adaptive Bass Controlシステムの調整がまだ行われていない場合、緑色のインジケータライトがゆっくりと点滅します。調整に関しては BeoLab 5 の部屋への適応 (P12-13) で説明されています。スピーカーがPINコードでロックされている場合、緑と赤のインジケータライトが間欠的に点滅します。PINコードシステムに関してはPINコードシステムの使用 (P14) で説明します。

BeoLab 5をBang & Olufsen以外のシステムと使用するには

スピーカーはP10の説明に従って接続し、オプション番号はP11の説明に従って1または4に設定します。

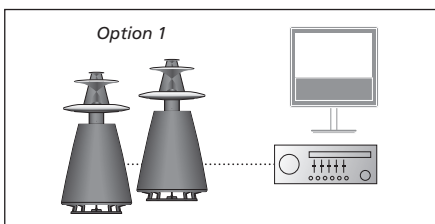


Bang & Olufsen以外のシステムを通常と同じように操作します。但し、以下の操作を行うにはBeo4リモコン（オプションの付属品）を使用しなければなりません。

- スピーカーのスイッチをオン/オフ
- 音量の調節
- 左右のサウンドバランスの調整（スピーカーのスイッチをオンにした時、バランスは常時ニュートラルになっています）
- サウンドレベルの保存とリセット
- PINコードシステムの使用
- オプション設定とLINE入力レベルの変更

Beo4のディスプレイにはBASS、TREBLE、LOUDNESSが表示されますが、Beo4を使ってこれらの調整を行うことはできません。トーンコントロールの設定はニュートラルで保つことをお勧めします。

Beo4リモコンの詳細については、リモコンの説明書を参照してください。



BeoLab 5がオプション1にプログラムされた場合

BeoLab 5のスイッチをオン/オフ…

- > RADIO を押してスイッチをオンにします。
- > • を押してスイッチをオフにします。

音量の調節…

- > ^ を押して音量を上げます。
- > v を押して音量を下げます。

サウンドレベルをリセット…

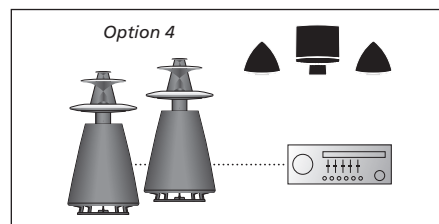
- > Beo4 ディスプレイに RESET* が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押してサウンドレベルをリセットします。

左右のサウンドバランスを調整…

- > ◀ を押しサウンドを左寄りに調整し、▶ を押し右寄りに調整します。

新しいスタートアップのサウンドレベルを保存…

- > スタートアップのサウンドがお好みのレベルに達するまで ^ v を押します。
- > Beo4 ディスプレイに SETUP* が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押して決定します。
- > Beo4 ディスプレイに S.STORE が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押して設定を保存します。



BeoLab 5がオプション4にプログラムされた場合

BeoLab 5のスイッチをオン/オフ…

- > Beo4 ディスプレイに LINK* が表示されるまで LIST を押し、それから RADIO を押してスイッチをオンにします。
- > • を押してスイッチをオフにします。

音量の調節…

- > ^ を押して音量を上げます。
- > v を押して音量を下げます。

サウンドレベルをリセット…

- > Beo4 ディスプレイに RESET* が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押してサウンドレベルをリセットします。

左右のサウンドバランスを調整…

- > ◀ を押しサウンドを左寄りに調整し、▶ を押し右寄りに調整します。

新しいスタートアップのサウンドレベルを保存…

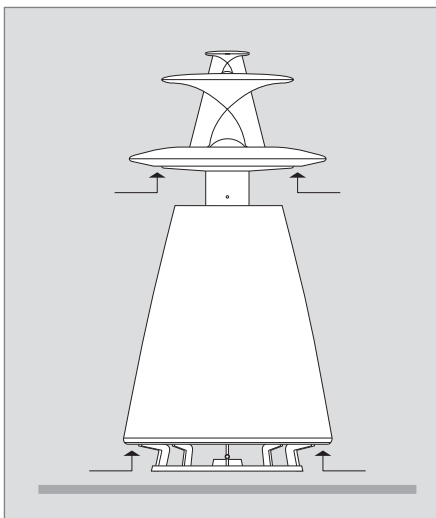
- > スタートアップのサウンドがお好みのレベルに達するまで ^ v を押します。
- > Beo4 ディスプレイに A.SETUP* が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押して決定します。
- > Beo4 ディスプレイに S.STORE が表示されるまで LIST を押します。
- > センターボタンを押して設定を保存します。

*Beo4のLIST機能に追加しなければなりません。
次のサイトでBeo4オンラインガイドをご覧ください。
www.bang-olufsen.com/guides

BeoLab 5のセットアップ

以下の手順に従って行うことをお勧めいたします。

- オーディオまたはビデオシステムを電源から外します。
- ケーブルの接続 (P8-10) の説明に従い全ての接続を行います。
- スピーカーを電源に接続します。
- 必要に応じて、BeoLab 5のシステムへの適応 (P11) の説明に従い、スピーカーをオーディオまたはビデオシステムにプログラムします。
- BeoLab 5の部屋への適応 (P12-13) の説明に従い、スピーカーの Adaptive Bass Control 調整を行います。
- お望みの場合はPINコードシステムを起動します。PINコードシステムの使用 (P14-16) をご参照ください。
- オーディオまたはビデオシステムを電源に接続します。



BeoLab 5の取り扱い: 本製品は重量があるため、移動したり持ち上げたりする場合は必ず2名で行ってください。スピーカーを移動/持ち上げの際に持つべき「安全エリア」が図で示されています。

床に傷をつける恐れがありますので、スピーカーは必ず床から離して動かしてください。

ご注意

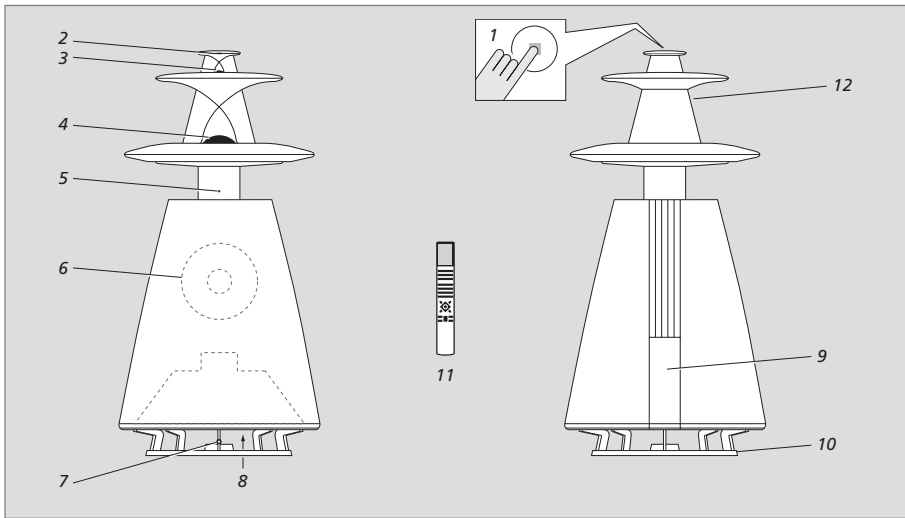
- スピーカーは決して開けないでください。そのような作業が必要な場合は資格のある専門家にお任せ下さい。
- スピーカーが当ガイドに従って設置・接続されていることをご確認ください。
- スピーカーを床に設置します。
- スピーカーには決して物を載せないでください。
- 2つあるスピーカードームには決して触らないでください。詳細は、「クリーニング」(P4) をご覧ください。
- スピーカーは温度10-40°C (50-105°F) の乾燥した家庭内の環境で使用するようにデザインされています。

使用を開始する前に…

- スピーカーを Bang & Olufsen 以外のシステムに接続した場合、スイッチをオン/オフしたり音量を調節するなど、スピーカーを操作するために Beo4 リモコン (オプションの付属品) が必要となります。
- 音量は内蔵のスピーカーアンプで調整するものであって、オーディオまたはビデオシステムで行うものではありません。トーンコントロールの設定はニュートラルで保つことをお勧めします。
- セットアップで使用するスピーカーは全て電源に接続されていなければなりません。

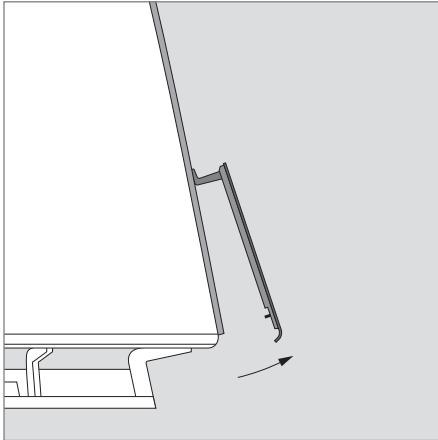
警告

- 大音量で長時間聴き続けると聴覚を損なう場合があります。

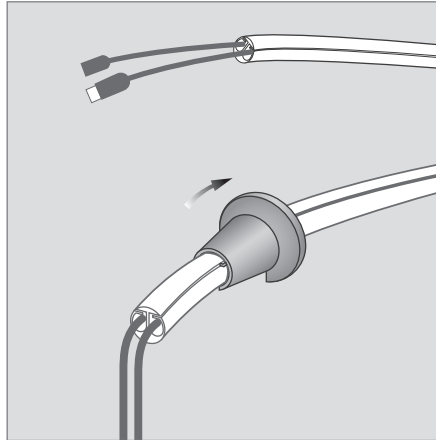


左図は各部の位置を示しています。

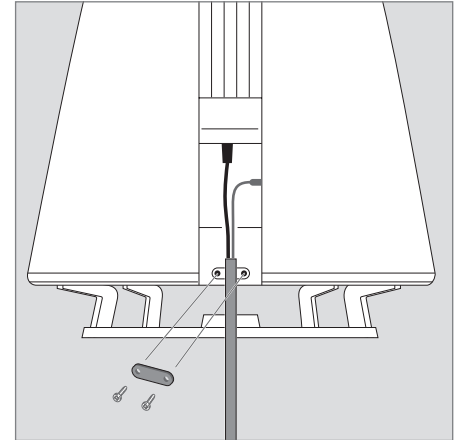
- 1 タッチフィールド
- 2 インジケータライト
- 3 高周波スピーカードーム：
ここは触れないでください。
- 4 中周波スピーカードーム：
ここは触れないでください。
- 5 Beo4リモコン用シグナルレシーバー
- 6 アップーバス・スピーカー・ユニット
- 7 Adaptive Bass Controlシステム用
可動マイクロホン
- 8 ロウアーバス・スピーカー・ユニット
- 9 ソケットパネル用カバー
- 10 ベース
- 11 Beo4リモコン (オプションの付属品)
- 12 製品ラベル



ソケットパネル用カバー：ソケットとRIGHT-LEFTスイッチにアクセスするにはカバーを外さなければなりません。それを行うには、上記の図のようにカバーの下端を引いてください。



ケーブルカバー：電源ケーブルとシグナルケーブルをケーブルカバーに入れ、特殊工具を使用してカバーを密封します。



ケーブルクランプ：安全のため、電源ケーブルをスピーカーに固定してください。ケーブルカバーをクランプの後ろに置き、2本のねじで固定します。

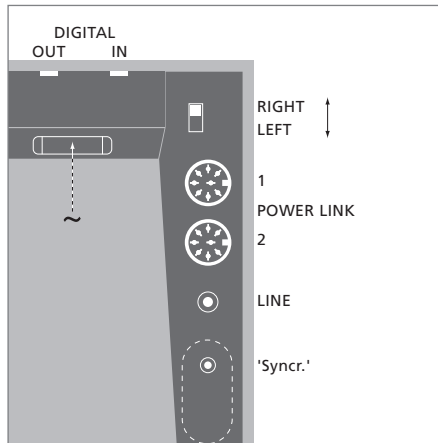
ケーブルの接続

P9の説明に従ってスピーカーをBang & Olufsenのオーディオ・ビデオシステムに接続することができます。Bang & Olufsen以外のシステムに接続するにはP10の説明に従ってください。

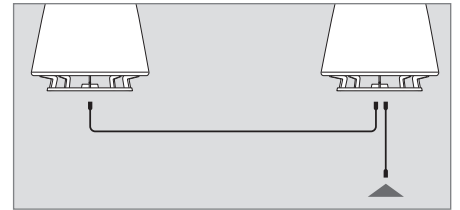
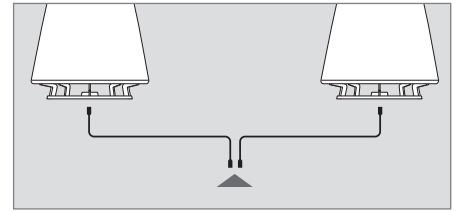
ソケットとスイッチを探すには、ソケットパネルに示されたイラストや図を参考にしてください。

オーディオまたはビデオシステムのソケットに関する特定情報は、システムに添付されたガイドをご参照ください。

パネルにアクセスするには、P7で説明されているようにスピーカー背面にあるカバーを外します。



「Syncr用接続」が小さなカバーの下に隠されています。アクセスするにはカバーを取り外します。



Power Linkケーブルは、図で示した2つの方法で接続可能です。

ソケット、スイッチパネル

DIGITAL OUT

Phonoソケット/RCAソケットは最初のスピーカーから次のスピーカーへデジタル信号を送るために使われます (SPDIF アンバランス)。デジタル接続は左右両方のサウンドチャンネルを伝えます。

DIGITAL IN

Phonoソケット/RCAソケットはデジタル出力 (SP/DIF アンバランス) 機能を備えたシステムへの接続に使われます。デジタル接続は左右両方のサウンドチャンネルを伝えます。

~
電源へ接続するためのソケット。

RIGHT - LEFT

このスイッチはスピーカーが右または左のいずれかのサウンドチャンネルを選択するために使用します。POWER LINKまたはDIGITALと表示されたソケットを使ったスピーカーを接続する場合、このスイッチをRIGHTまたはLEFTにセットします。

LINEと表示されたソケットのみを使用してスピーカーを接続する場合、このスイッチをいずれかの位置に留めておきます。

POWER LINK 1 - 2

Bang & Olufsenのオーディオまたはビデオシステムへ接続するためのソケット。

Power Linkの接続は左右両方のサウンドチャンネルを伝えます。

LINE

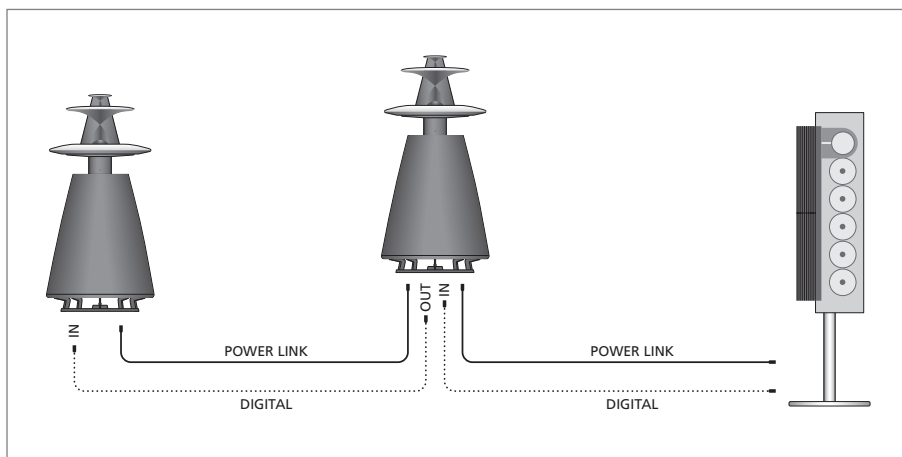
Bang & Olufsen以外のオーディオまたはビデオシステムへ接続するためのPhonoソケット/RCAソケット。

LINE信号は規制のないライン信号でなければなりません ($\leq 2V$ RMS)。LINE出力レベルが2V RMSを上回る場合は、各スピーカーのLINE入力レベルを変更します。BeoLab 5のシステムへの適応 (P11)をご参照ください。

「Syncr」接続

2台のBeoLab 5スピーカーを接続するためのソケット、Bang & Olufsen以外のシステムに接続する場合にのみ使用します。この接続により両方のスピーカーが常に同じ音量で出力されます。

付属の電源コードとプラグは、この製品専用に設計されています。プラグを交換しないでください。電源コードが損傷した場合、Bang & Olufsen 販売店で新品をご購入ください。



Bang & Olufsen システムへの接続

スピーカーは Power Link ソケットを備えた全ての Bang & Olufsen のオーディオ・ビデオシステムに接続することができます。またデジタル出力ソケットを持った Bang & Olufsen システムに接続することも可能です。

RIGHT-LEFT と表示されたスイッチを各スピーカーの正しい位置にセットしてください。

POWER LINK 接続

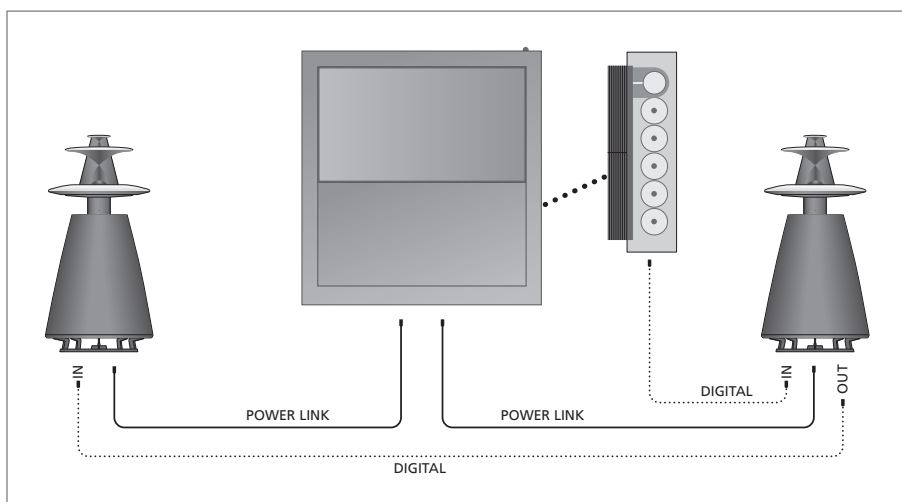
Bang & Olufsen の Power Link ケーブルを使い、スピーカーをシステムに接続します。Power Link ケーブルは2つの方法で接続可能です (P8 参照)。

長いケーブルは Bang & Olufsen 販売店でお求めください。しかし、不必要に長いケーブルを使用することは避けてください。

重要：非常に薄いタイプは使用せず、正規の Power Link ケーブルのみをご使用ください。誤ったタイプの Power Link ケーブルを使用した場合、スピーカーは出力しません。確信がない場合は Bang & Olufsen 販売店へご相談ください。

DIGITAL 接続

Bang & Olufsen システムにデジタル出力ソケットが付いている場合、スピーカーを直接このソケットにも接続することをお勧めします。これによりデジタルソース (CD) を再生する場合に最高の音質が得られます。スピーカーをシステムに接続するには Bang & Olufsen 公認 phono ケーブルをお使いください。



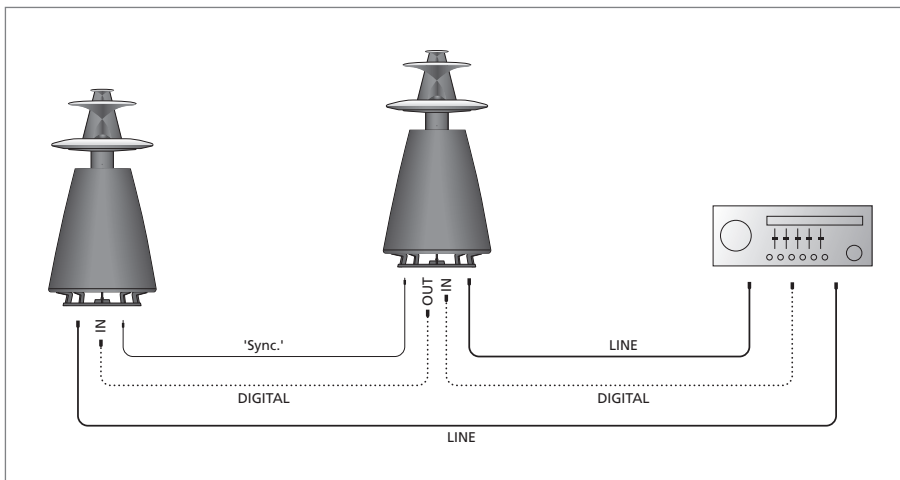
Bang & Olufsen の他のデジタルシステムの接続は、それらに添付されたガイドをご参照ください。

Bang & Olufsen以外のシステムへの接続

スピーカーはBang & Olufsen以外の規制のないライン信号を持ったほとんどのオーディオまたはビデオシステムに接続することができます(音量は内蔵のスピーカーアンプによって調整され、オーディオまたはビデオシステムでは行えません)。

スピーカーはデジタル出力ソケット (SPDIF) 搭載のほとんどのシステムに接続することができます。

Bang & Olufsen 以外のシステムに接続する場合、「BeoLab 5 のお手持ちのシステムへの適応」(P11) に説明されているようにならず「オプション」を1または4にセットしてください



LINE 接続

LINE 各スピーカーを直接システムに接続するには通常のphonoケーブルをお使いください。

LINE 出力レベルが2 V RMSを上回る場合は、各スピーカーのLINE出力レベルが高くなるよう(> 2 V RMS ≤ 4 V RMS) 変更します。「BeoLab 5 のお手持ちのシステムへの適応」(P11) をご参照ください。

「Syncr.」接続

2台のスピーカー間の接続。この接続により両方のスピーカーが常に同じ音量で出力されます。

2台のスピーカーを接続するには、両端にミニジャックプラグの付いたBang & Olufsen 公認ケーブルをお使いください。

DIGITAL 接続

システムにデジタル出力ソケットが付いている場合、スピーカーをこのソケットにも接続することをお勧めします。これによりデジタルのソースを再生する場合に最高の音質が得られます。

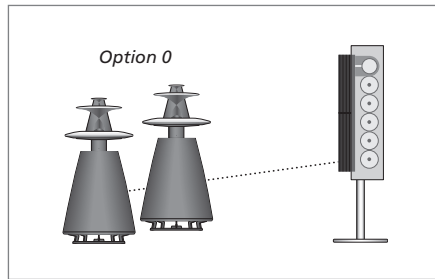
スピーカーをシステムに接続するにはBang & Olufsen 公認のphonoケーブルをお使いください。

デジタル接続を使用する場合、RIGHT-LEFTと表示されたスイッチを各スピーカーの正しい位置にセットしてください。

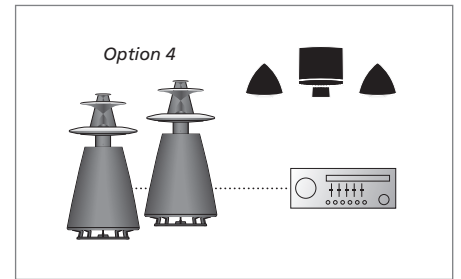
スピーカーは工場から出荷される時点でオプションが0に設定されています。したがって、スピーカーをBang & Olufsenのオーディオまたはビデオシステムに接続する場合、オプション設定をする必要はありません。この場合、スピーカーはBang & Olufsenシステムを経由してコントロールされます。

しかし、スピーカーがBang & Olufsen以外のシステムに接続されている場合、オプション設定を変更しなければなりません。この場合、スピーカーによってBeo4リモコンのシグナルが受信・操作されます。オプション設定は2つ用意されています。

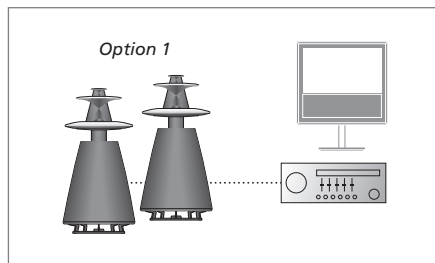
Bang & Olufsen以外のシステムのLINE出力レベルが2 V RMSを上回る場合は、各スピーカーのLINE入力レベルが高くなるよう($2 \text{ V RMS} \leq 4 \text{ V RMS}$)変更します。



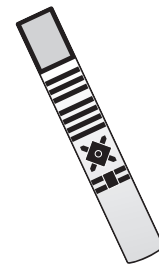
オプション0 (工場出荷時の設定) : Bang & Olufsenのオーディオ(またはビデオ)システムへ接続された場合。



オプション4: Bang & Olufsen以外のシステムに接続され、さらに同室にBang & Olufsenのオーディオシステムを持つ場合。



オプション1: Bang & Olufsen以外のシステムに接続された場合、ご希望によりBang & OlufsenのTVを同室に設置することも可能です。



「オプション」とLINE入力レベルの設定を変更する場合にはBeo4リモコンを使用します。

オプション設定を変更:

- > ・ボタンを押しながら、LISTを押します。
- > 両方のボタンを放します。
- > Beo4ディスプレイにOPTION?が表示されるまでLISTを繰り返し押します。
- > センターボタンを押します。
- > Beo4ディスプレイにL.OPTが表示されるまでLISTを繰り返し押します。
- > 該当するオプション番号(0、1、4)を入力します。

インジケータライトが短時間消え、新しいオプション番号が保存されたことを示します。全てのスピーカーに正しい番号がプログラムされたことを確認するには、各スピーカーで同じ手順を繰り返してください。

LINE入力レベル設定の変更:

- > Beo4ディスプレイにSOUND*が表示されるまでLISTを繰り返し押します。
- > センターボタンを押します。
- > 適切なLINE入力レベル数値を入力します。(LINE入力レベルが2 V RMSより低い場合は1、LINE入力レベルが $2 \text{ V RMS} \leq 4 \text{ V RMS}$ より高い場合は2)。

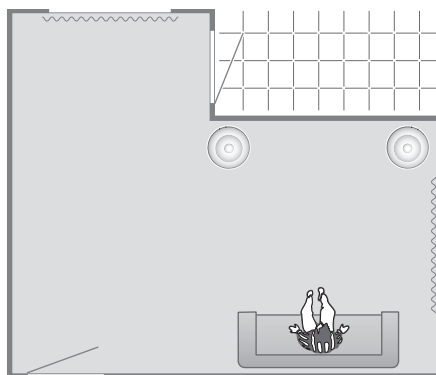
インジケータライトが短時間消え、新しいLINE入力レベルが保存されたことを示します。全てのスピーカーに同じLINE入力レベルがプログラムされたことを確認するには、各スピーカーで同じ手順を繰り返してください。

*Beo4のLIST機能に追加しなければなりません。Beo4オンラインガイドを参照して行ってください。

BeoLab 5の部屋への適応

BeoLab 5のAcoustic Lens Technologyシステムにより、部屋によって反響されるサウンドやスピーカーから直接出力される高中周波のより良いサウンドバランスを保ちます。またAcoustic Lens Technologyシステムによってスピーカーの前全体の空間におけるサウンドのトーンバランスを正確に保つことができます。

BeoLab 5のAdaptive Bass ControlシステムとAcoustic Lens Technologyシステムにより最大限に自由なスピーカーの設置が行えます。Acoustic Lens Technologyシステムの調整を行うことによってスピーカーは設置状態や環境に適合し、従って最高の音質を得ることになります。



Adaptive Bass Controlの調整

通常、スピーカーが部屋の隅に設置された場合、部屋の中央に設置された場合に比べバスレベルは上昇します。

他のスピーカーシステムと併用する場合、設置の際にこれらを考慮しなければなりません。BeoLab 5なら調整されたAdaptive Bass Controlシステムによりこのバスレベルの変化が除外されます。

調整の途中、スピーカーは一連のサウンドシグナルを生成し、壁や床、天井、大きな置物、その他部屋の表面からの反響を測定します。スピーカーはこれらの測定結果からAdaptive Bass Controlフィルターに最適な設定を自動的に産出します。

「Adaptive Bass Control」を調整することによって、バスのレベルがスピーカーの設置や環境に適合されます。

スピーカーのスイッチを初めてオンにすると、緑色*のインジケータライトがゆっくりと点滅し調整がまだ行われていないことを示します。

重要!

- 調整を開始する前にスピーカーを設置したい位置に置いてください。
- スピーカーの調整は1台ごとに行います。2台以上を同時に行くと、一方のスピーカーから出力されたサウンドが他のスピーカーの測定を妨害します。
- 設置する部屋の「日常」を想定します。ドアは閉まっていますか？窓は？カーテンは閉まっていますか？大勢の人がいますか？
- 将来スピーカーの設置場所を変えたり、部屋の模様替え、床にカーペットを敷いたりした場合、再度各スピーカーの調整を行うことをお勧めします。
- トーンコントロールの設定はニュートラルで保つことをお勧めします。

調整中、スピーカーから出力されたサウンドを妨害するノイズが一切ないことをご確認ください。例えば、電気掃除機、換気・エアコンシステム、近くのモーター音など。

スピーカーはある程度までのノイズは相殺しますが、限度を超えると赤いライトがゆっくりと点滅し、調整に失敗したことを示します。一度失敗すると、再度調整を行わなければなりません、ノイズが止まるまで待ってから行ってください。



Acoustic Lens Technology は Sausalito Audio Works からのライセンスを得て製造されています。

BeoLab 5の調整

セットアップにおけるスピーカーの調整を1台ごとに行います。スピーカーの調整にはそれぞれ2分ほどかかります。調整前にスピーカーのPINコードシステムを解除してください*。

> スピーカーがスタンバイ状態であることを確認します。必要に応じて、「日常の使用」(P4-5)を参照してスピーカーをスタンバイ状態にします。

> タッチフィールドを3秒間以上押し続け、その後パネルを離します。

調整が開始されると、緑のインジケータライトが点滅します。

開始後および調整中には次のようなことが起こります：

- マイクロホンが突出し、スピーカーは非常に低いバスから始まる一連のサウンドシグナルを生成します。
- 暫くたつと、マイクロホンはさらに突出し、サウンドシグナルが再度開始されます。
- 調整が終了すると、マイクロホンは元の位置に戻り、スピーカーはスタンバイに切り替わります。インジケータライトがしばらく赤点灯します。その後、次のスピーカーに進みます。

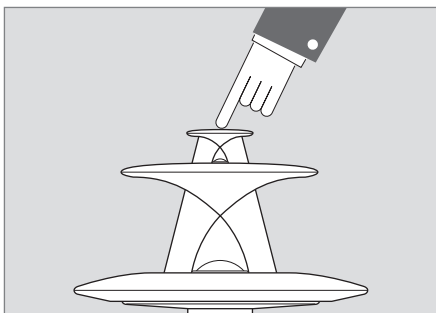
赤いライトが点滅した場合、調整中にエラーが発生したことを示します。対策として以下のことを行ってください：

> タッチフィールドを1秒間以上押し続け、その後パネルを離します。

スピーカーがスタンバイ状態になり、インジケータライトがしばらく赤点灯します。

> 調整を妨げる周囲のノイズをもう一度確認し、ノイズが止まるまで待ってください。

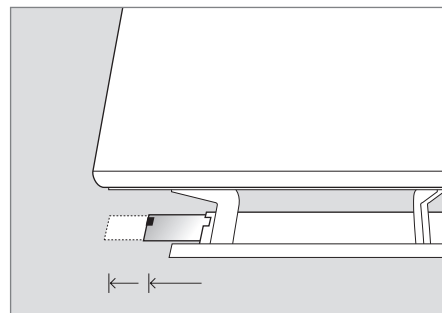
> タッチフィールドを3秒間以上押し続け、調整を再開します。



調整するスピーカーのタッチフィールドを3秒以上押します（押したとき、インジケータライトが速く点滅します）。

実行中の調整をキャンセルしたい場合は、タッチフィールドを再度押すか、Beo4リモコンのBACKを押します。

インジケータライトに関しては P17 をご参照ください。



調整中は可動マイクロホンが使われます。マイクロホンの前には常に空き空間があることをご確認ください。

*ご注意!スピーカーがPINコードでロックされている場合、起動時に緑と赤のインジケータライトが間欠的に点滅します。スピーカーのロック解除はPINコードシステムの使用(P14)をご覧ください。

PINコードシステムの使用

スピーカーにはPINコード保護システムが搭載されています。まずPINコード保護システムを利用するかしないかを決定してください。

スピーカーが電源に接続されないで15分から30分経った状態でコードシステムを起動すると、スピーカーは5分間動作しますが、その後はスタンバイに戻ります。この場合、Beo4リモコンを使用して個人が設定したPINコードを入力し、スピーカーのロックを解除してください。

PINコードシステムの使用

4桁のPINコードはBang & Olufsen 製品全部に共通するように設定すると便利です。PINコードシステムの解除に使用されるため「0000」は使用しないでください。

PINコードシステムを起動

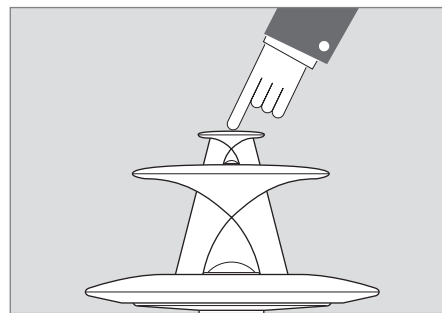
PINコードシステムは各スピーカーごとに起動します。

Beo5をスタンバイ状態にします…

- > 起動はBeo4リモコンで行います。手早く、◀◀、▶▶、STOPの順でボタンを押します。
- 赤(0.5秒)と緑(1秒)のインジケータライトが交互に点滅します。
- > 10秒以内に起動したいスピーカーのタッチフィールドを押してください。
- 該当するスピーカーがサウンドシグナルを発生し、選択されたことを知らせます。
- > ユーザーが選択した4桁のPINコードを入力します*。
- 数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンドシグナルを発生します。
- > センターボタンを押してコードを決定します。
- 該当するスピーカーがサウンドシグナルを発生し、確定されたことを知らせます。
- > 確認のためにもう一度4桁のコードを入力してください*。
- 数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンドシグナルを発生します。
- > センターボタンを押してコードを保存します。
- 該当するスピーカーがサウンドシグナルを発生し、確定されたことを知らせます。

PINコードが確定すると、インジケータライトがしばらく赤点灯します。

確定に失敗するとスピーカーがサウンドシグナルを発生します。もう一度ははじめからやり直してください。



PINコードシステムを起動するスピーカーのタッチフィールドを押します(押したとき、赤いインジケータライトが速く点滅します)。

起動を中止したい場合は、タッチフィールドを再度押します(またはBeo4リモコンのBACKを押します)。

PINコードシステムを設定するときは、部屋にあるその他のBang & Olufsen 製品を電源から取り外すようお勧めします。これにより、Beo4リモコンによる他の製品の誤作動を防ぐことができます。

インジケータライトとサウンドシグナルに関してはP17をご参照ください。

*で注意! 入力を間違えた場合はSTOPを押してもう一度やり直してください。

PINコードの変更

PINコードを変更するときは、まず以前に設定したPINコードを入力し、その後新しいコードを入力します。この操作は3時間に5回しかできませんのでご注意ください。

BeoLab 5をスタンバイ状態にします…

- > 起動はBeo4リモコンで行います。手早く、◀◀、▶▶ STOPの順でボタンを押します。赤(1秒)と緑(0.5秒)のインジケータライトが交互に点灯します。
- > 10秒以内にPINコードを変更したいスピーカーのタッチフィールドを押してください。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、選択されたことを知らせます。
- > 以前に選択した4桁のPINコードを入力します*。数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンド信号を発生します。
- > センターボタンを押して、新しい4桁のコードを入力できるようにします。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、確定されたことを知らせます。
- > 新しい4桁のPINコードを入力します*。数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンド信号を発生します。
- > センターボタンを押してコードを決定します。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、確定されたことを知らせます。
- > 確認のためにもう一度、新しい4桁のコードを入力してください*。数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンド信号を発生します。
- > センターボタンを押してコードを保存します。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、確定されたことをお知らせします。

PINコードが確定すると、インジケータライトがしばらく赤点灯し、スイッチが切れます。確定に失敗するとスピーカーがサウンド信号を発生します。もう一度はじめからやり直してください。

PINコードを忘れたとき

スピーカーのロックを解除するためには5桁のマスターコードが必要です。Bang & Olufsen 販売店に連絡し、マスターコードを入手してください。

マスターコードを使用してロックを解除するとPINコードシステムは停止します。

BeoLab 5をスタンバイ状態にします…

- > Beo4リモコンの◀◀を3秒間押してからマスターコードを入力します。赤(1秒)と緑(0.5秒)のインジケータライトが交互に点灯します。
- > 10秒以内に起動したいスピーカーのタッチフィールドを押してください。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、選択されたことを知らせます。
- > Bang & Olufsen から入手した5桁のマスターコードを入力します*。数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンド信号を発生します。
- > センターボタンを押して5桁のマスターコードを入力します。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、確定されたことを知らせます。

マスターコードが確定すると、インジケータライトがしばらく赤点灯し、スイッチが切れます。確定に失敗するとスピーカーがサウンド信号を発生します。もう一度はじめからやり直してください。

PINコードシステムを停止する

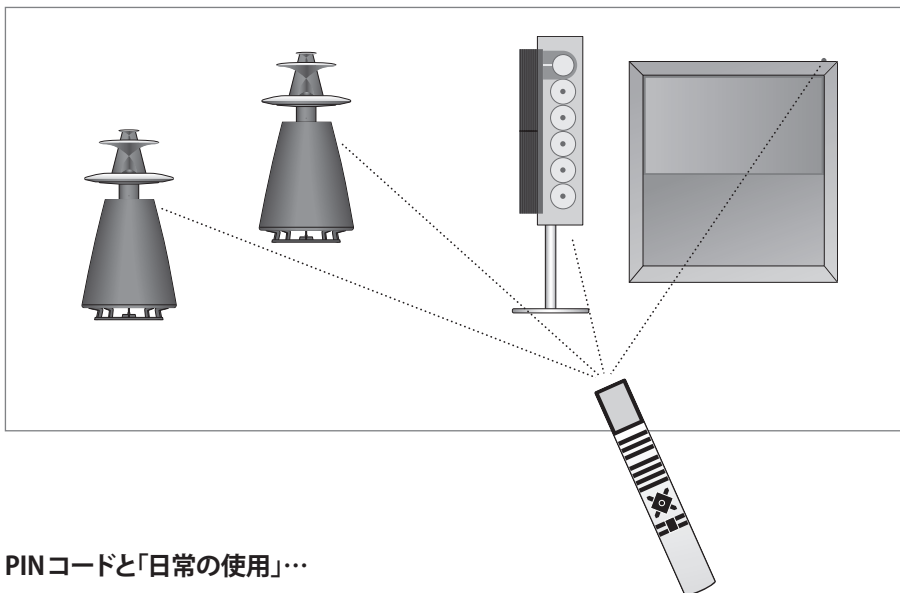
PINコードシステムを停止するときは、まず以前に選択した4桁のコードを入力し、その後「0000」を入力してコード保護システムを解除します。

BeoLab 5をスタンバイ状態にします…

- > 起動はBeo4リモコンで行います。手早く、◀◀、▶▶ STOPの順でボタンを押します。赤(1秒)と緑(0.5秒)のインジケータライトが交互に点灯します。
- > 10秒以内にコード保護システムを解除したいスピーカーのタッチフィールドを押してください。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、選択されたことを知らせます。
- > 以前に選択した4桁のPINコードを入力します*。数値の入力毎に該当するスピーカーがサウンド信号を発生します。
- > センターボタンを押して、コードを入力します。該当するスピーカーがサウンド信号を発生し、確定されたことを知らせます。
- > Beo4リモコンで0000と入力します*。
- > センターボタンを押して、PINコードシステムを停止します。

インジケータライトがしばらく赤点灯し、スイッチが切れます。確定に失敗するとスピーカーがサウンド信号を発生します。「0000コード」を使用し、もう一度はじめからやり直してください。

お手持ちの Bang & Olufsen 製品すべてに共通する4桁のPINコードをご使用であれば、一回の操作ですべてのロックを解除することができます。すべての製品が Beo4 リモートのシグナルを受信できる位置に立って操作を行ってください。



PINコードと「日常の使用」…

日常の使用ではPINコードシステムが起動していることに気づかないかもしれません。しかし、スピーカーが電源に接続しないで15—30分以上が経過した後(停電など)にPINコードを起動すると、スピーカーは約5分間動作しますが、その後スタンバイに戻ってしまいます。

この場合、スピーカーのロックを解除するためにBeo4リモコンを使用して、以前に選択したPINコードをもう一度入力してください。

一度PINコードの入力を間違えると、その後4回しかやり直せないことにご注意ください。入力を5回間違えるとスピーカーは自動的にオフになり、その後3時間は使用できません。この3時間の待機中、スピーカーは電源に接続したままにしてください。

BeoLab 5のロックを解除する

PINコードシステムでロックされている場合、スピーカーを起動すると赤と緑のインジケータライトがゆっくりと点滅します。

BeoLab 5が再生中の場合…

> Beo4リモコンを使用して4桁のPINコードを入力します*。

数値の入力毎に該当するスピーカーが「beep」音を発します。

PINコードが確定すると緑のインジケータライトが点灯し、スピーカーのロックが解除されたことを示します。

確定に失敗するとスピーカーがサウンドシグナルを発します。もう一度ははじめからやり直してください。

* 入力を間違えた場合はSTOPを押してもう一度やり直してください。

日常の使用では、インジケータライトはしばらく赤点灯するか(スタンバイ)、緑点灯します(再生中)。

その他の状況下では、赤または緑の点滅、あるいは両方の色による点滅が見られることがあります。PINコードシステム設定中にはスピーカーがサウンドシグナルを発します。

これらの実例は当ガイドの関連する章でそれぞれ説明されていますが、このページにはそれらの概要としての説明を掲載します。該当する章のページ番号も示されています。

インジケータライト:	スピーカーの状態:
しばらく赤点灯し、スイッチが切れる…	スタンバイ (P4)。
緑が点灯…	オン (P4)。
赤点滅/OFF(1秒/1秒) 約12秒間	エラー (P4)。
赤が点滅(非常に速く)…	タッチフィールドを押下中。
緑が間欠的に点滅する (1秒/1秒)…	Adaptive Bass Controlの調整中 (P12-13)。
赤が間欠的に点滅する (0.5秒/0.5秒)…	Adaptive Bass Controlの調整中にエラーが発生 (P12-13)。
緑が間欠的に点滅する (2秒/0.5秒)…	Adaptive Bass Controlの調整がまだ行われていない (P12-13)。
赤と緑が交互に点滅する (0.5秒/1秒)…	PINコードシステム起動中 (P14)。
赤と緑が交互に点滅する (1秒/0.5秒)…	次のいずれかを実行中: - PINコードシステムの停止中 (P15) - PINコードシステムの変更中 (P15) - マスターコード入力が行進中 (P15)
赤と緑が交互に点滅する (1秒/1秒)…	スピーカーがPINコードシステムでロックされている (P16)。
短時間オフになり、再度赤が点灯する…	Option設定が確定済み (P11)。

サウンドシグナル:	スピーカーの状態:
短い「ding」音を発する…	PINコードシステムに関連したいずれかの状況が進行中であることを示す (P14-15)。 - スピーカーが選択されている - 一桁入力
「ding-ding」音を発する…	PINあるいはマスターコードが確定 (P14-15)。
一連のサウンド「ding-dong, ding-dong, ding-dong」を発する…	PINコード確定に失敗 (P14-15)。

索引

Acoustic Lens Technology

BeoLab 5の部屋への適応、12-13

Adaptive Bass Control

BeoLab 5の部屋への適応、12-13

日常の使用、4

インジケータライト、サウンドシグナル、17

オーディオまたはビデオシステム

BeoLab 5のシステムへの適応、11

Bang & Olufsenシステムへの接続、9

Bang & Olufsen以外のシステムへの接続、10

日常の使用、4-5

PINコードシステムの使用、14-16

Beo4リモコン

日常の使用、4-5

BeoLab 5のシステムへの適応、11

PINコードシステムの使用、14-16

ケーブルおよび接続

Bang & Olufsenシステムへの接続、9

Bang & Olufsen以外のシステムへの接続、10

BeoLab 5のセットアップ、6-7

ソケット、スイッチパネル、8

調整

BeoLab 5の部屋への適応、12-13

日常の使用、4

インジケータライト、サウンドシグナル、17

クリーニング

クリーニング、4

インジケータライト、サウンドシグナル

BeoLab 5の部屋への適応、12-13

BeoLab 5のシステムへの適応、11

日常の使用、4

インジケータライト、サウンドシグナル、17

BeoSound 5のセットアップ、7

PINコードシステムの使用、14-16

スピーカーの保護

BeoLab 5のクリーニング、4

インジケータライト、サウンドシグナル、17

スピーカーの保護、4

メンテナンス

クリーニング、4

オプションの設定

BeoLab 5のシステムへの適応、11

インジケータライト、サウンドシグナル、17

BeoLab 5をBang & Olufsen以外のシステムと使用するには、5

PINコード

日常の使用、4

インジケータライト、サウンドシグナル、17

PINコードシステム設定、14-15

PINコードと「日常の使用」、16

設置

BeoLab 5の部屋への適応、12-13

BeoLab 5のセットアップ、7

電気・電子機器の廃棄 (WEEE) - 環境保護対策



左に示したマークが付けられている電子機器や電子部品、および電池を、通常の家ごみと一緒に処分してはいけません。すべての電子機器や電子部品、および電池は別個に収集され、処分される必要があります。

お客様の国で採用されている回収システムに従い、電気器具や電子機器を処分することは、環境と人間の健康を保護し、自然資源の有効活用に貢献することを意味します。

電気器具や電子機器、および電池の廃棄回収により、機器に含まれる有害物質による汚染を未然に防ぐことができます。

各地域での正しい処理方法については、Bang & Olufsen 販売店にご相談ください。

